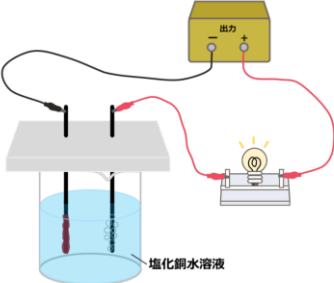
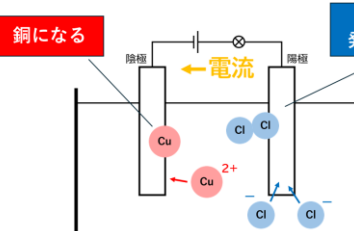


おすすめICT活用事例のご紹介

区分				活用ソフト
中	3	理科	原子の成り立ちとイオン	プレゼンテーションソフト
授業内容	塩化銅水溶液に電流が流れているときの変化を科学的に考察し、図で示す			活用ツール 描画
	<p>準備：</p> <ul style="list-style-type: none">・ワークシート用ファイルを作成する。・ワークシート用ファイルを共同編集できる場所に保存する、または課題として子供たちにコピーを配付する。 <p>授業の流れ：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 前時に実施した塩化銅水溶液に電流を流す実験についてふりかえる。2. 各自ワークシートを開き、両極で起こった化学変化について考察しながら粒子モデルや矢印、言葉等を記入する。3. グループになり、ワークシートを見せながらどのように考えたか意見交流し、グループとしての考えを決める。4. 全体で、各グループの考えを伝えあう。5. 塩化銅水溶液に電流を流すことで起きる化学変化「塩化銅 → 銅 + 塩素」について先生の説明を聞く。			<p>提示資料</p> <div><p>塩化銅水溶液に電流を流すと、陽極からは気体（塩素）が発生し、陰極には銅が付着しました。 電流を流すことでどのような変化が起きたのか、図を描きましょう。</p></div> <p>化学変化とイオンのワークシート記入例</p> <div></div>
	ICT利活用のポイント	模式図が容易に作成できます。		
	おすすめポイント	実験結果を視覚的に表現し、考察する活動を通して、より一層の理解とともに、化学変化をイオンのモデルと関連付ける見方や考え方を養うことができます。		